

## 1. はじめに

平成 28・29 年度に発掘調査を実施した市内福田地内の「村北遺跡」について、昨年 5 月から発掘調査報告書を作成するための資料整理を行ってきました。

このたび資料整理がほぼ完了しましたので、その成果についてご報告するとともに、遺跡から見つかった縄文土器についてご紹介します。なお、今回のたよりでは、資料成果の一部を紹介します。詳しい成果は平成 31 年度に刊行予定の報告書をご覧ください。

## 2. 資料整理の成果

村北遺跡は福田集落の北側に位置します。野地城-中潟間を結ぶ道路改良工事に伴い、平成 28・29 年度 2 か年にわたって市教育委員会が発掘調査を実施しました（発掘調査の詳細は、村北遺跡「発掘調査だより」をご覧ください）。

遺跡では、縄文時代から古代・中世、近世（江戸時代）にわたる人びとの生活痕跡が見つかりました。中でも縄文時代ではとても興味深い特徴が見られます。

現在の水田の高さから約 1.5m 下がった地下から、縄文時代中期終わり～後期中葉（約 4,400～3,500 年前）の遺物（土器や石器など）がたくさん出土しました。他の時代の遺跡に比べて、縄文時代の遺跡では遺物がたくさん出土します。ところが、この遺跡では、遺物が「たくさん出土する場所」と、「出土しない場所」がはっきりと分かれるのです（図 1）。さらに、「たくさん出土する場所」では、出土する土器の年代が少しずつ違うことがわかりました。

長い間暮らしたムラでも、時期ごとにムラの中で少しずつ移動する例は他の遺跡でも見られますが、村北遺跡の場合はどうも違うようです。

住居は 1 軒しか見つかっていません。最も古い時期の住居の炉（写真 1）は約 4,400 年前、この時期にはじめて縄文人がやって来ます。この時期は住居・土器のほか、矢じりなどの狩猟具も見つかっています。ところが、人びとはずっとこの遺跡には暮らしてはいません。その後、約 4,200 年前、4,000 年前、3,800 年前と間を空けて、時々この遺跡に来ているのです。この間の住居は見つかっていません。石器も、狩猟具から木の実を調理する道具に変わっていきます。最も新しい時期は約 3,500 年前、この時期の土器は 4 点しか見つかっていません。しかも、全てマツリに使う特殊な道具なのです（写真 2）。

このように村北遺跡は、狩猟や木の実の採集のために時々やってくる「キャンプ的な場所」が 1,000 年の間に「まじない・祈りの場」に変わっていったものと考えられます。



写真 1 約 4,400 年前の住居の炉跡



写真 2 約 3,500 年前のマツリの道具

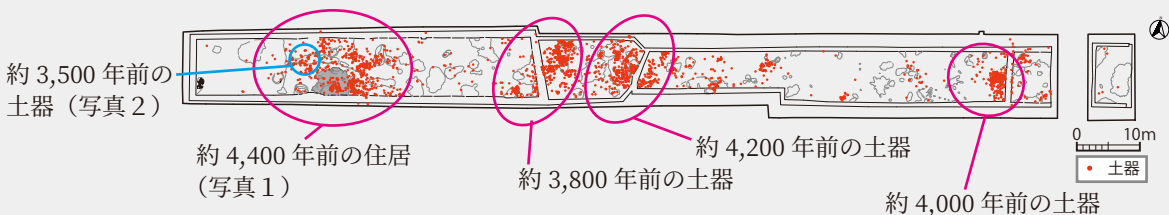


図 1 土器の出土位置

### 3. 今回のイッピン **キラキラ雲母**の土器たち

村北遺跡では、縄文時代中期～後期のいろいろな土器が出土しています。たよりの最後を飾るイッピンは「土器」、その中でも「キラキラ光る土器」についてご紹介します。

縄文土器は粘土で形をつくり、約500～600℃で焼き上げた素焼きのうつわです。遺跡からは最も多く出土します。この土器を作るための粘土を縄文人がどこから採ってきたのか、実はよくわからないのです。ところが、その謎を解くヒントがあります。

写真3は村北遺跡から出土した土器とその拡大写真になります。キラキラしたものがたくさんあります。もしかして金！、残念ながら、これは粘土に含まれる「金雲母（きんうんも）」と呼ばれる鉱物です。直径1mmほどの大きさに六角形の結晶をしています。このように、粘土には採取した場所を特定するヒントが隠れているのです。

しかし、金雲母は、阿賀野市を含む阿賀北地域のどこでもたくさん含まれている鉱物です。そのため、粘土を採った場所を特定することはできません。そこで、写真4の土器を見てください。この土器にはキラキラ金雲母はありません。黒く光る細長い「角閃石（かくせんせき）」という鉱物が多く含まれています。

写真3と写真4の土器では、違う鉱物が含まれた粘土が使われているのです。このことから、複数の粘土採取場所があったことが考えられます。写真3は約3,800年前、写真4は約4,400年前の土器になります。時期によって、採取場所が変わったことも考えられます。また、異なるムラの縄文人たちが村北遺跡に来ていたのかもしれない。

村北遺跡では3,800年前の土器が最も多く出土します。他の時期に比べて、この時期の土器に金雲母が含まれる割合が高くなっています。粘土をどこで採取したのか、という謎はまだ解けていませんが、村北縄文人の間にキラキラ雲母の土器が流行した時期があったことは間違いないようです。



写真3 金雲母を含む土器（拡大：白枠内に金雲母）



写真4 角閃石を含む土器（拡大：赤枠内に角閃石）